

「2024九州地区ゴルフ場ターフメンテナンス展示会」 機械メーカー等27社出展で会場規模拡大

ジョンディア製品が並ぶミクニグリーンサービス



TのZの搭載の無人ロータリーモア（イーアグリテック）



挨拶する九州ゴルフ連盟・重永敏哉事務局長



スプレーヤーやローンエッジャーが並ぶマルナカのブース



最先端のバンカー工法キャピラリーコンクリート（東洋グリーン）



九州ゴルフ連盟（GUK・水田芳夫理事長）が主催する「2024九州地区ゴルフ場ターフメンテナンス展示会」が11月26日にグランメッセ熊本（熊本県上益城郡）にて開かれた。22年度の展示会では、サブライチエーションの混乱により、出展を断念した機械メーカーや販売店も多く、会場規模が縮小されたが、今回は、機械メーカー・販売店を中心に規模が拡大された。

同展示会にはコース管理機械

だけでなく、カートナビシステム、ゴルフコースアクセサリ、土壌改良剤・浸透剤、芝生用肥料、ペント種子、散水設備、ソーラーLED照明灯、ターフナイヤなど計27社が出展。熱心なゴルフ場関係者が各ブースに訪れていた。

また、展示会場2階中会議室では出展9社による30分セミナーも開催された。

次回は2026年に開催（場所は未定）を予定している。



無人フェアウェイモアと無人ロータリーモアが並ぶ共栄社



温暖化から注目されているプリモゾインア（フロラティン・ジャパン）



TOROは待望の無人フェアウェイモアがやはり話題に（ゴルフ場用品）



タインの総合メーカー、テイコク



九州でレインバードといえばサンヨウ



需要が高まっているロボット芝刈り機（ハスクバーナ・ゼノア）



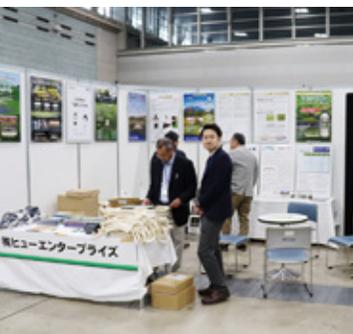
参考出品の最新乗用スプレーヤー（初田拡撒機）



タインのラインナップが充実（サカモト精機）



大きな期待が集まるベントグラスCY4（雪印種苗）



シンプロットの肥料はヒューエンタープライズ



JACOBSENのリチウムバッテリーグリーンモア（ハマダゴルフ機器）



自律走行システムI-GiNS（マミヤオービー）

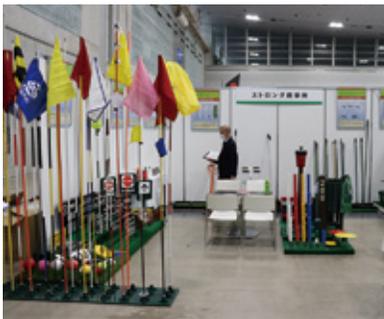


ハイブリッドバミューダ美ら緑に注目が集まっていたカネコ種苗

電源不要のソーラーLED照明灯
(宇部興機)



基幹システム、GPSナビのアイシングリ-ンシステムが初出展



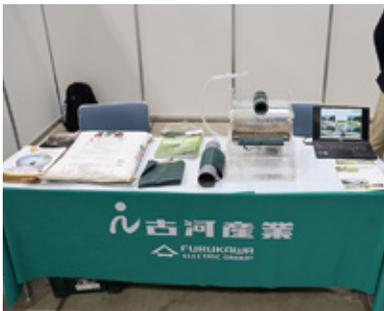
豊富なコースアクセサリのストロング商事



軽トラ、カート、管理機械の特殊タイヤは加登ゴム



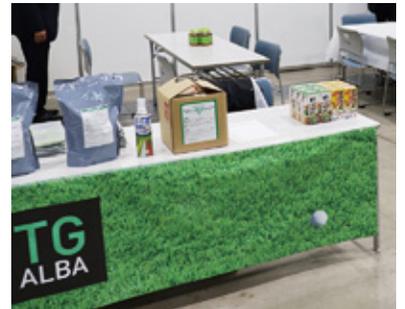
省化にはコース管理システム
(インフォニア)



目詰まりしにくい排水システム、ドレインベルト (古河産業)



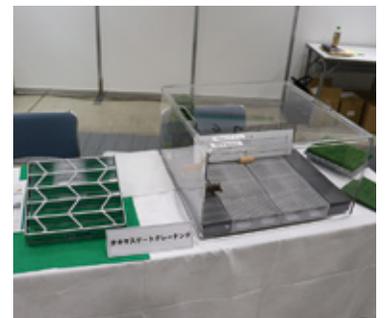
あすか創建のスプレッド工法は耐久性の高いポリエチレン管を短期工事で行う



肥料の老舗、多木化学
(多木化学・TGアルバ)



出展9社による30分セミナーも開催された



イノシシ、シカが進入路から入るのを防ぐグレーチング (ダイクレ)